大舞台での活躍誓う

高校総体出場の向陽高・京都西山高生 向日市役所で抱負

インターハイに出場する向陽高と京都西山高の生徒ら（向日市役所）

近畿を中心に今夏開かれる全国高校総体（インターハイ＝IH）に出場する向日市の向陽高と京都西山高の生徒らが市役所を表敬訪問し、安田守市長と山本真也教育長に本番での活躍を誓った。

向陽高からは3年三原慶太さん（17）＝京都市伏見区、3年田中惣大さん（17）＝右京区、3年岡﨑十和さん（17）＝北区＝と、2年栗山匠さん（16）＝西京区＝の4人が自転車競技に、3年松浪滉さん（17）＝向日市＝が男子新体操に出場する。

自転車の団体追い抜きは35年ぶりのIHの舞台。主将を務める田中さんは「団体種目は8位入賞が目標。個人ロードレースは京都が会場になるので、地元への恩返しの走りがしたい」と抱負を語った。松浪さんは「ミスなく、自分の最高の演技ができたら」と自然体で臨む。

京都西山高は女子ソフトボールのほか、3年田淵友佳理さん（17）＝宇治市、3年森島朱梨佳さん（18）＝京田辺市、3年伊藤悠海さん（18）＝京都市山科区＝の3人が少林寺拳法に挑む。

2年連続出場となる主将の田淵さんは「最後のIHで日本一になれるよう、今までで一番気合が入っている」と意気込んだ。ソフトボール部主将の3年石原菜生さん（18）＝大阪府箕面市＝は「目標の日本一を達成し、全員の笑顔が輝くようにしたい」と力を込めた。

（堀内陽平）

京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co.,Ltd.
©京都新聞社 無断複製・転載を禁じます